



Look Beyond Yourself 自分を超えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数 会員 74名中 37名

先々週出席率 92.96% (前年同期 92.11%)

先週のメイクアップ 9/5 アクトへ 清水良一君

9/5 燕へ 堀川政雄君

9/9 三条南へ 金子左武郎君、鈴木宗資君、高橋一夫君、
小林九満太君、平原信行君、金沢興宗君、
渡辺宏策君、細井増雄君

9/10 三条北へ 五十嵐晋三君、金沢興宗君、五十嵐昭一君

会長挨拶 内山(辰)副会長

本日は早朝例会で朝早くから大変ご苦勞様でございます。

法華宗総本山の根本道場において、管長猥下をはじめ大勢の僧侶による朝行(勤行)にお会いして、俗世の塵を洗い落とし、心身共に和やかな心境に浸りました。

私達の俗世間の生活は六道輪廻「地獄・餓鬼・畜生・修羅・人界・天界」の中で醒迷い続けて居り、六道の境涯を越えることは中なか出来ないのであります。

今朝は朝行にお会いして皆様方の心の境涯は六道を越えて「声聞」位まで挙かっているものと思われます。これから管長猥下のご法話を拝聴し、朝食を頂くわけですが、どうか

家にお帰りになるまで「声聞」の心を持ち続けて頂きたいと思います。本日の早朝例会が意義ある例会になります様祈念致します。合掌

幹事報告 石橋幹事

◎例会変更のお知らせ！

燕 R C — 9月19日(木) 新入会員歓迎の為 PM18:30~ 於 ふじ屋
10月3日(木)→10月4日(金)にガバナー公式訪問の為 PM12:30~
吉田 R C — 9月20日(金) ガバナー公式訪問の為 PM6:00~

◎桐生中央 R C より 認証状伝達式のご案内がとどいております。

とき 平成4年2月23日
ところ 桐生市産業文化会館

卓話

本成寺 管長 野口日桂殿

皆様おはようございます。昨年10月に当主になりました日桂と申します。なにぶん明治の人間でございますので申し上げることが頑固で若い人達に嫌われるかも知れませんが少しお話をさせていただきます。

“宗教とはなんぞや”と申しますと大変難しいのですが、お釈迦様の教えによりますと拝む者と拝まれる者の対象であり、拝む者が私どもで拝まれる者がお釈迦様でございます。私どもは法華宗なので中心に拝むのはお釈迦様でございますが、宗派によっては阿弥陀様を拝んだりいたします。終戦直後のことですが、その頃私は富山におりまして教育委員会が“学校での宗教教育は困る”等と申しておりました。皆様ご存じと思いますが顕微鏡を覗きますと細かい神秘な世界が見えます。或は高い山に登って日の出を拝む、御来光と言うんでしょうか、この御来光を拝んでいる時は全ての人の心が綺麗になっていくと思います。これが本当の宗教の姿ではないでしょうか。それを忘れてしまっているのが今の若い人達はとんでもないことをやってしまいます。雑誌にも載っておりましたが、そのような者の家庭には仏壇と言う神棚がありませんで、拝む対象物がないわけです。皆様方もお会いになるとご挨拶をなさると思いますが、これも対象物に対する挨拶と考えるわけでございます。一本の綺麗な植物を考えてみてください。精巧な造花がありますが、自然なすみれの花の美しい色調はなかなか人間の力では創り出すことはできません。いったいこの美しいすみれの花の色調は誰が創ったのでしょうか。すべては天地の恵みにより満たされているわけです。自然な一輪の花には人を引き



る力があるわけです。人間の力では出来ないことが神仏の力で出来てしまいます。その美しい花を見ているだけで心が洗われるように思います。本成寺も2-3年前に庭を造りまして三軌宛と名前がつけられました。お花の種類は椿が主でございますが、一本の木にも御仏の慈悲によって生かされています。私も時々散歩に出ておりますが、庭には萩の花が咲き乱れています。長年京都にりましたが、京都でも今ごろは萩祭りの時期でして、その頃を思い出しながらここでの生活をさせていただいております。心に邪念がなければ木も花も大変綺麗に見えると思います。

皆様にも朝早くから本成寺に来ていただき、お焼香をしていただきました。我々は朝業と申しますが、これは御仏に対して香を焚き、御供養をすることでございます。皆様のお焼香を拝見しておりましたが、1回だけの方、3回の方様々でした。何回でも構いませんが、出来れば3回お焼香をしていただきたい。過去、現在、未来に通ずる意味でお線香も1本でなく3本が丁寧です。

また、中にはお数珠をお持ちになっている方がおられました。私どもの数珠玉の数は百八つでして、百八つの悩み、すなわち煩惱をこうしてすり合わせます。略式の数珠は五十四個になっています。百八つの数珠を合掌することにより、私達の持っている心の煩惱を摩滅すると言う意味があります。小説の大菩薩峠の中に“上求菩提下化衆生”という仏教語がでてまいります。合掌して手をこするのにも意味があります。一方の手が上にある時は“私達は罪深い人間です、どうか菩提を求めさせてください”、一方が下がる時は有難く仏の心が聞かされてお慈悲の心をもって合掌するようにと法華教では教えています。こんな気持ちで皆様も御参りしていただきたいと思っております。

百八つの煩惱をこすり合わせ御参りしますが、自分も助け、人をも助けることが本当の宗教の慈悲の心であると思っております。

また、合掌の時指を重ねますが、十界と関係があります。下から順に1地獄界、2餓鬼界、3畜生界、4修羅界、5人間界、6天界、7声聞界、8縁覚界、9菩薩界、10仏界となっています。

このように合掌しながら私達の心を正しくして最上部の仏界にお導き下さるように念じるわけでございます。中には手と手の間を膨らませて合掌する場合もあり、これは両手のなかに蓮の花のつぼみを入れているので膨らんでいるという気持ちで御参りして下さいます。つぼみはやがて綺麗な花になるというわけです。

教えても教えられんことですが、幼稚園の子供と祖母がお地藏様の前でこんな会話をしていたとある雑誌で読みました。

子供 “お地藏様今日は何も持ってこれなくてごめんね、明日必ず持ってくるからね”

祖母 “草花一本でもいいから何かお供えしましょう”

これが拝む心であり、本当の宗教心ではないかと思ひながらその文章を読まされていた

だきました。子供の時から宗教心を養えば大人になってからも決して謀反はしないと思
います。

また、このような文章もあります。

三悪道を離れて人間に生まれる大きな喜び、即ち地獄、餓鬼、畜生に落ちないで人間と
して生まれてきたのは大きな喜びである。

“身は卑しくとも畜生より優れ、家貧しくとも餓鬼には勝り、心の願いが叶わなくとも
地獄の苦しきよりは楽であり、この家に人間として生まれたことを喜ぶべし”

自分の身がどんなに卑しく、人の足をすくおうと欲望にかられたとしても畜生よりはま
しであり、家がどんなにか貧しくとも餓鬼よりは勝っており、願いごとが何も叶わな
くとも地獄の苦しきと比べたらどんなにか楽である。要するに、正しい心を持ち、正
しい一生を送りなさいということです。

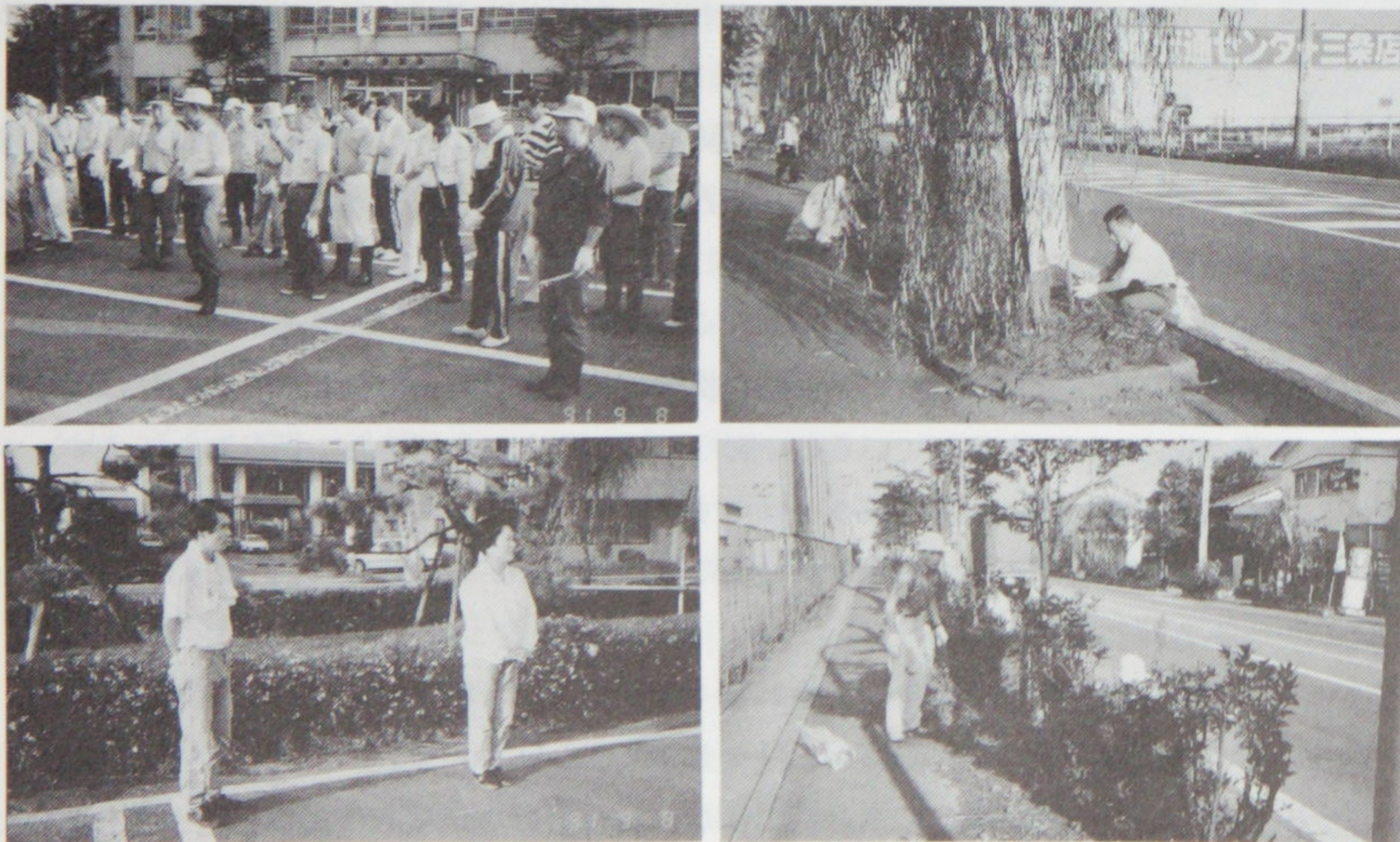
皆様方は三条市のロータリークラブの御立派な方々でございますが、どうか今後とも社
会の為に、貴方の人生の為に一層のご活躍を期待しております。

大変失礼いたしました。

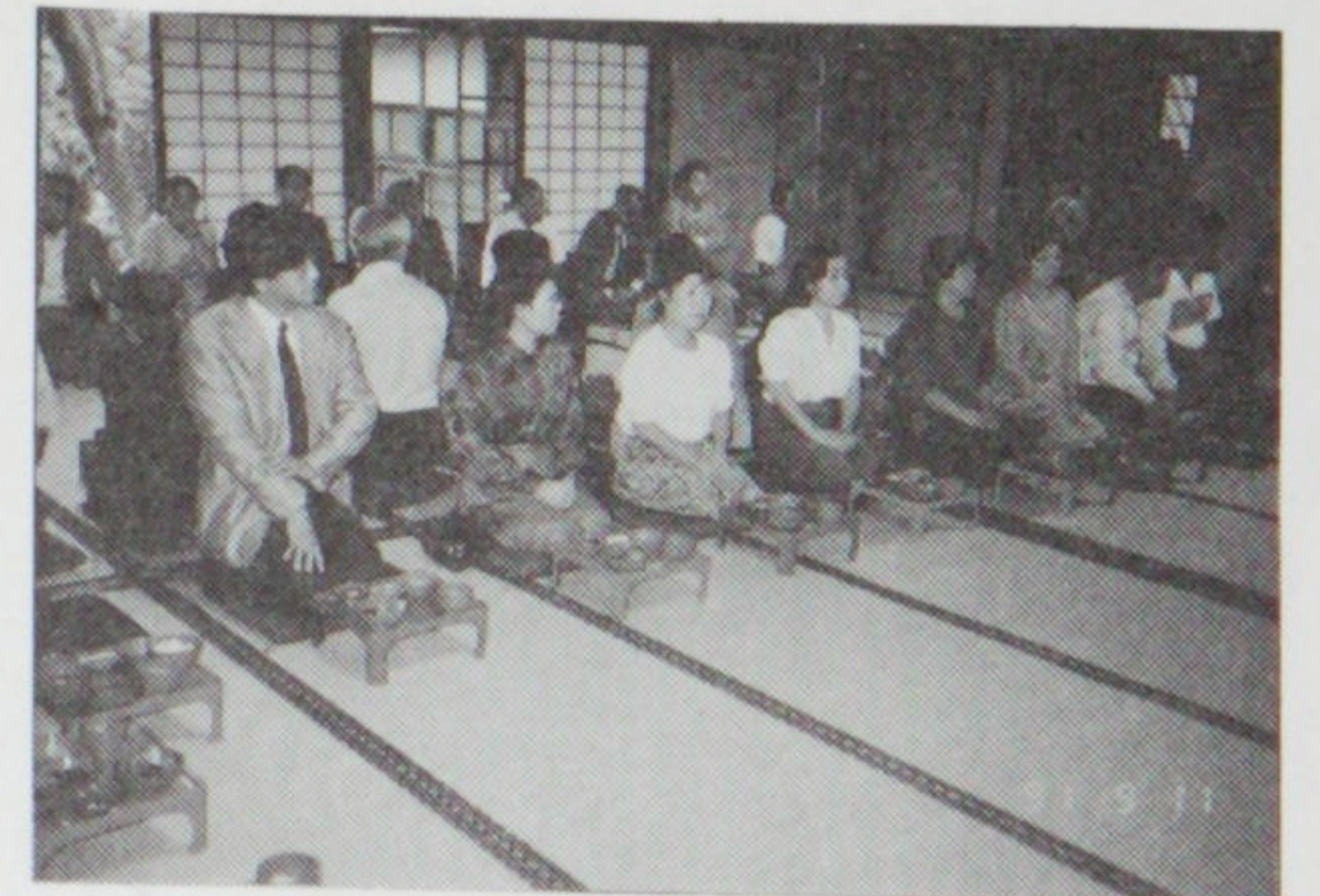
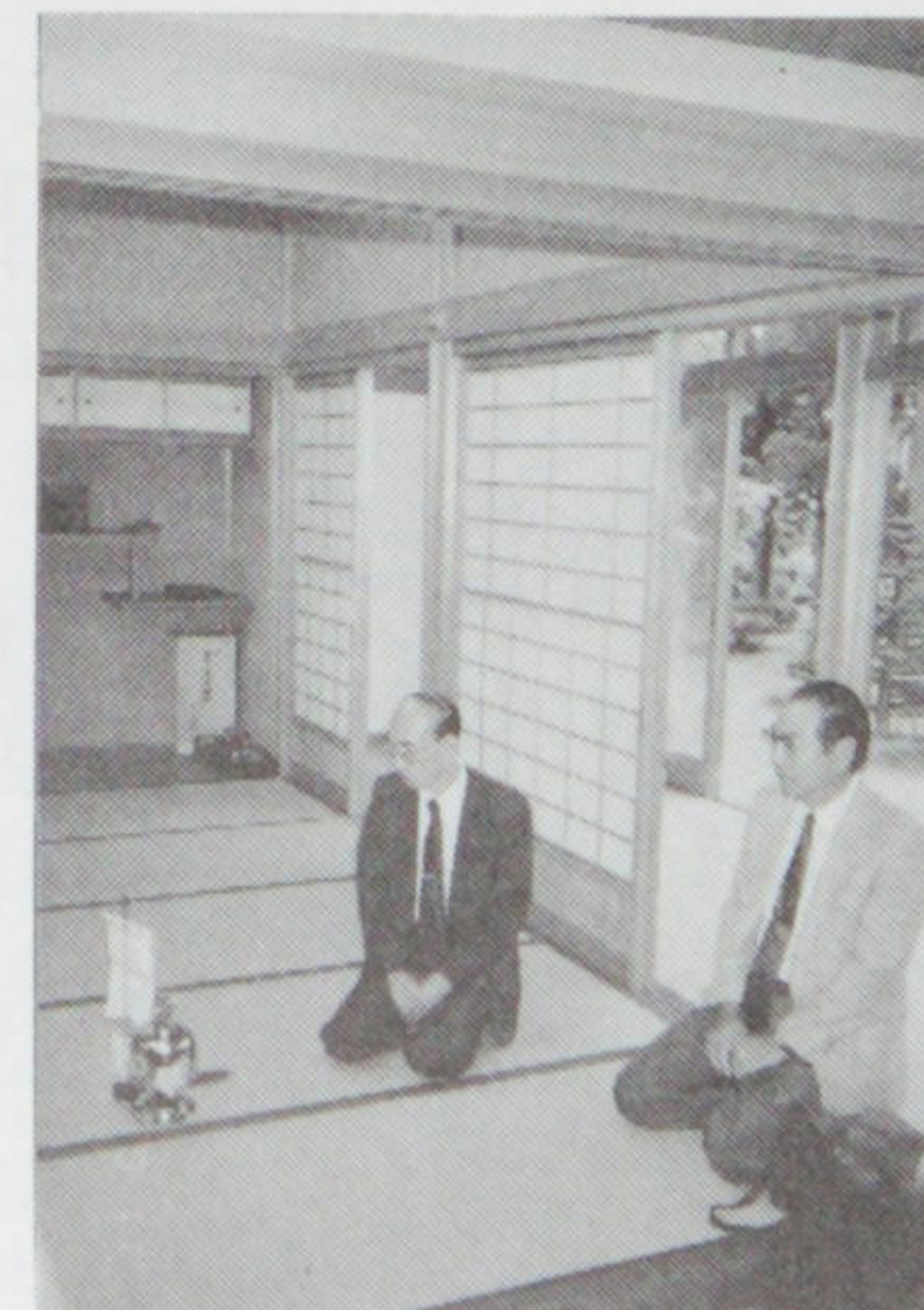
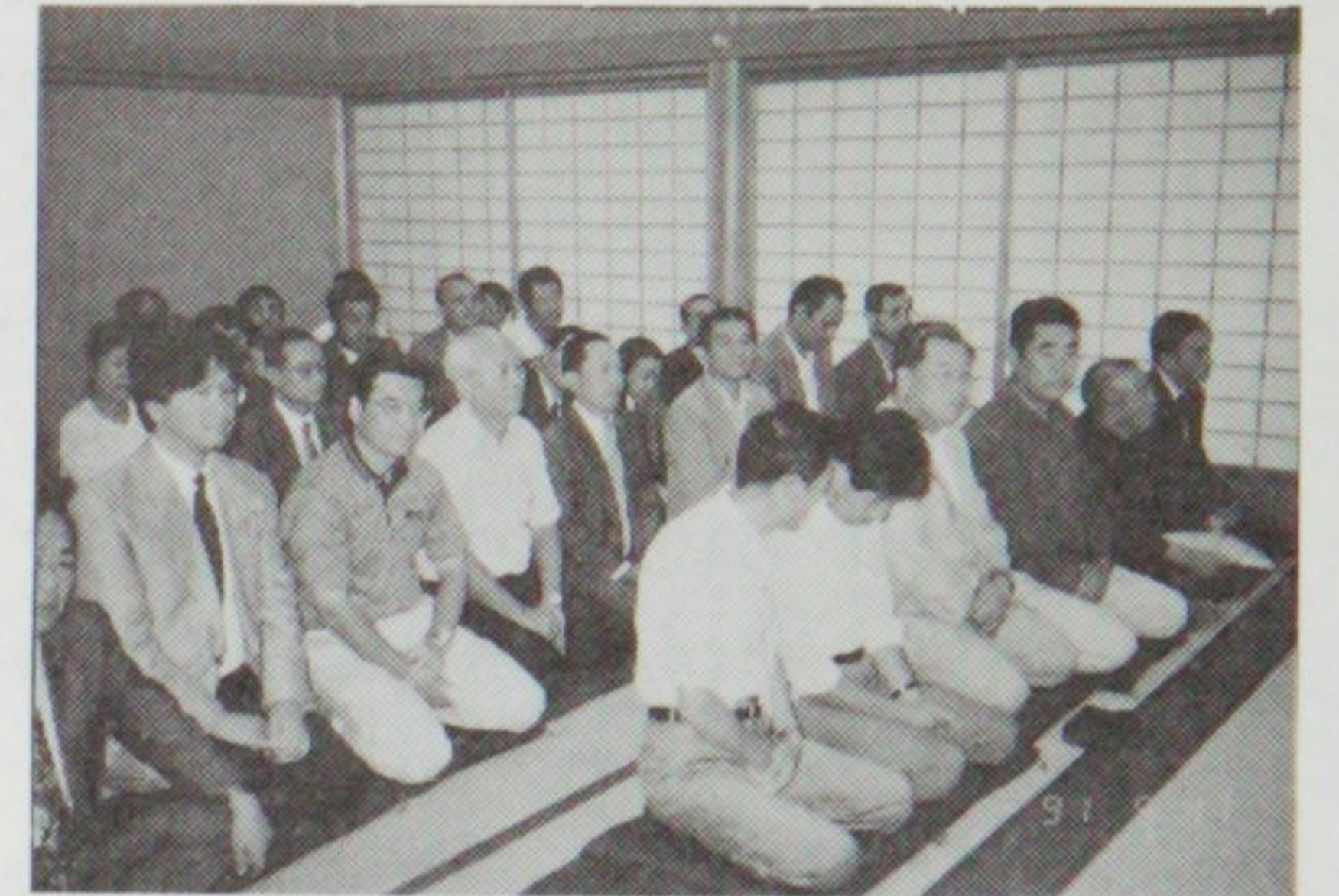
全市一斉クリーンデー

9月8日(日) 参加者 渡辺宏策会長、石橋育於幹事、広岡豊作君、平原信行君、
萩根沢隆雄君、轡田秋夫君、上木六治君

～～9月8日 クリーン協議会三条一斉クリーンデースナップ～～



～～～～～9月11日 早朝例会スナップ～～～～～



会員家族紹介 清水良一会員

・我が家の家族構成

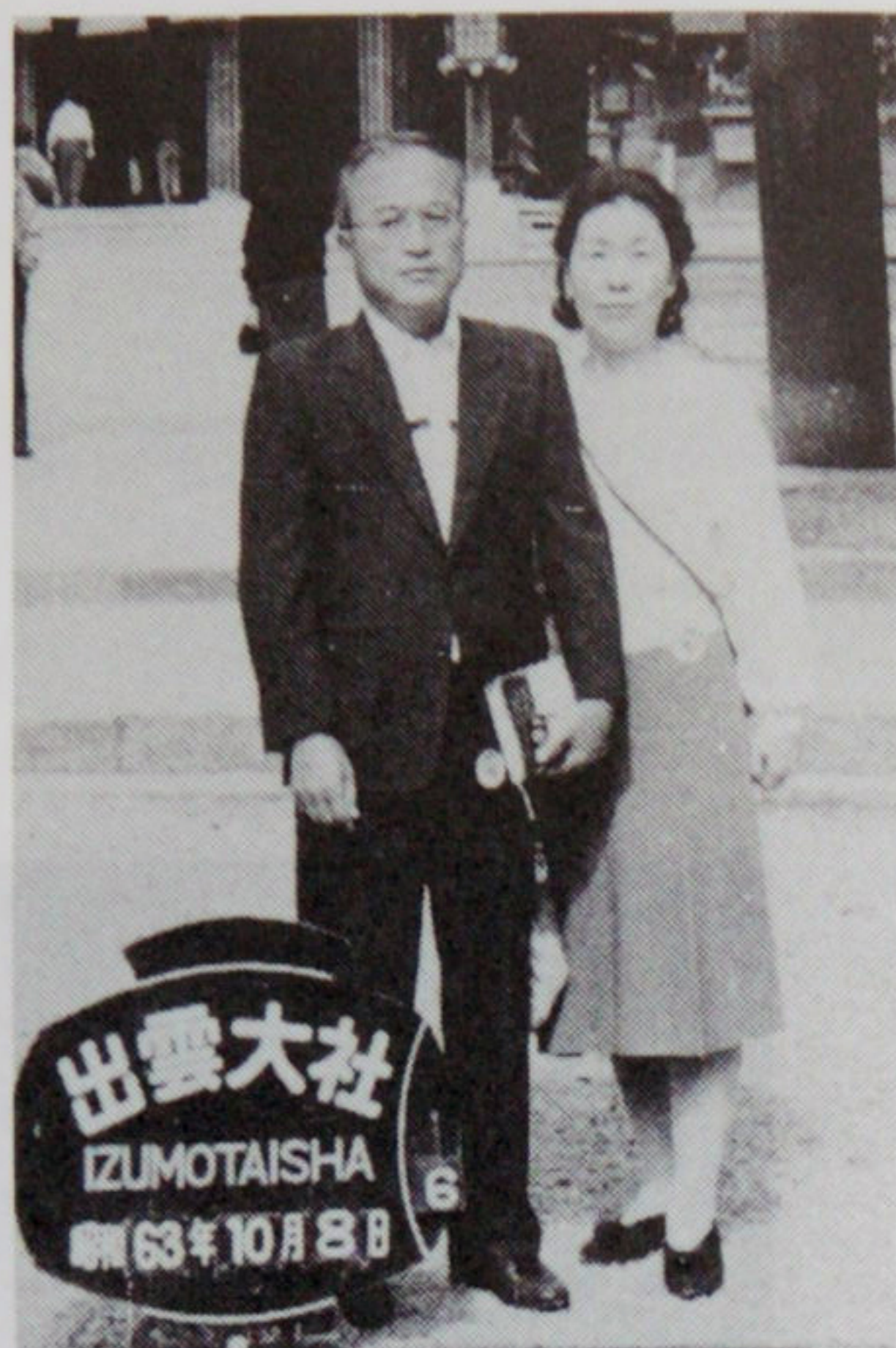
父（大正3年生）、母（大正元年生）、妻（昭和13年生）、息子（昭和41年生）の5人家族、結婚歴30年です。

小生、昭和32年に三条高卒、三条信金に入庫し20年近く勤務、昭和52年に妻には相談もせず、突然辞表を提出、その時妻は“あなたの好きなように”とたった一言。又、その分現在の独立宣言の際“俺、独立するぞ”と、妻謂わく一言“あなたの好きなように”内心、動揺の気持ちがあったらうに？

今でも不可解なり、でも妻の内助の功のお陰で順調に過ごして居ります。

写真は3年前フルムーン旅行の際の出雲大社での思い出の写真です。又、二人でフルムーン旅行に行きたいと思います。

最後に長女は一昨年市内に嫁ぎ、今年初孫（男児）に恵まれました。現在は家族健康で幸せ一杯です。



私の座右銘

岩井数央会員

直言は苦し

されど時と共に

甘露とならん

私の座右銘

広岡豊作会員

『四快の徹底』

快くお迎えする

快く寛いで頂く

快くお勘定をして頂く

快くお送りする

9月18日例会 クラブアッセンブリー

9月25日例会 卓話 新教育委員長 永塚光雄殿

10月2日例会 卓話 堀川政雄会員